

国道3号 下^{しも}辺^へ春^{はる}視距改良事業

概要

本事業は、S字カーブの線形を改良することにより、走行の安全性を確保するものです。

現状

当該箇所は、熊本県境の山間部のカーブが連続する2車線区間で、大型車交通が非常に多い区間であるが、曲線半径が小さく視距も十分に確保されていないため、自動車交通の走行安全性が確保されておらず、交通事故の危険性が非常に高い状況です。

今後

令和6年度は、調査設計を推進します。

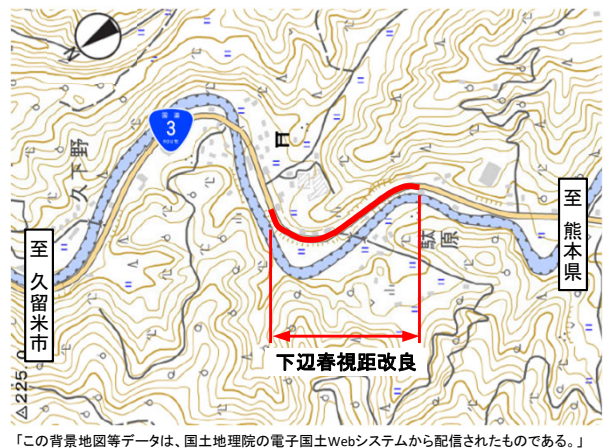
整備効果

曲線半径を緩やかにし、視距を確保することにより走行の安全性向上を図り、あわせて歩行者等の安全・安心な通行空間の確保を図ります。

【位置図】



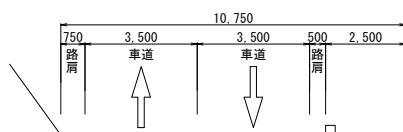
【位置平面図】



「この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。」

【横断図】

(現況)



(計画)

- ・曲線半径を緩やかにし、視距を確保します。
- ・幅員2.5mの歩道を整備します。
- ・幅員1.5mの自転車通行空間を整備します。

【整備前状況写真】

